

平成30年度 第2回本巢市水道事業運営審議会 会議要旨

日 時	平成31年2月14日（金）午後1時30分
場 所	本巢市役所糸貫分庁舎 2階 特別会議室
内 容	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長挨拶</p> <p>3. 審議事項</p> <p>（1）本巢市水道ビジョンの策定について</p> <p>「本巢市水道ビジョンの策定について」について、資料に基づき詳細の説明を行った。</p> <p>【主な質問事項】</p> <p>Q：年間2割くらい漏水により失われているが、周辺市町村の有収率はどうか。</p> <p>A：本巢市の有収率は76.2%です。山口市は28年度実績で73.2%、北方町が61.7%、瑞穂市が77.7%、揖斐川町が54.6%です。</p> <p>現在、漏水調査を行いながら、有収率を上げるよう対応しています。</p> <p>Q：水道の普及率が94%だが、集落から離れて家を建てる場合、自己負担で本管延長せず井戸にする家が多い。しかし、火事の時困るので消火栓のために水道を引いてほしいと言われるが、上水道を引かないことについて市はどう考えているのか。</p> <p>A：新たな配管については自己負担で行っていただいています。消火栓の要望がある場合は、総務課の防災面の費用で、管路を延伸する場合があります。防災的な観点からすると、防火水槽等の代替対策もあるため、現在、市の上水道としては積極的に配管の延長はしていません。</p> <p>Q：費用削減が大きく期待できるのは、施設統合などと思うが、できない理由は何か？</p> <p>A：北部地域においては、施設統合で日当浄水場や金原浄水場を廃止しています。南部地域は、規模が大きく口径変更を含む配管網の見直しなどに多額の資金が必要となることから今後の課題と考えています。</p> <p>Q：本巢市の水道料金は県内レベルや全国レベルではどうなのか？</p> <p>A：10 m³あたり料金で県内平均より少し安いくらいです。本巢市は10 m³あたり1,047円であるが、一番高い八百津町は2,192円です。県の施設から水を買って供給しているため、東濃の恵那、中津川、瑞浪、多治見は県内でも高い部類になります。</p>

Q：簡水を27年に統合して、料金回収率が悪くなっている。どういう関係なのか。

A：簡易水道は特別会計であったのを統合と同時に企業会計に合算しました。簡易水道は繰入金で賄い赤字会計だったため、合算により悪化しました。

Q：資源エネルギーの関係で、全体で電気料はどの程度であり、どのくらい落とせると予想しているのか。

A：平成28年度実績電気使用量が年間約2,139,000kwhでインバーター等使用しているが、機械、電気機器の老朽化要因もあり、現在効果は出ていません。今後も改修においては省エネ機器を使うことで電気量を削減していきたい。金額的には平成28年度決算ベースで約38,400,000円です。

Q：給水原価と、水道料金はどのくらい離れているのか。

A：平成29年度の決算時では本巢市全体で、給水原価が199円。それに対して供給単価が102円なので、その差が97円です。南部地域、北部地域で分けて考えると南部地域はその差が34円になるのに対して、北部は806円です。

Q：膜ろ過と塩素殺菌の違い。根尾の水は飲んでいて非常においしいが、本庁舎で飲むと、違和感がある。根尾は膜ろ過で、ほかの地域は塩素殺菌とのことだが、その違いで味が違うのか。

A：根尾は膜ろ過のうえに塩素も入れている。北部地域は岩盤等の地層の関係で浅井戸になっている。おいしさは個人差もあるかと思うが、硬度などほかの要因によるものではないかと思われます。

【結果】

諮問内容について了承を得た。

(2) その他

広く市民等から意見を募るため、「本巢市パブリックコメント手続き要綱」に基づき4月にパブリックコメントを実施することについて了承を得た。

次回の審議会について、来年度、5月に開催する予定である。

4. 閉会